

令和6年度 学校評価(関係者評価)シート

学校名

加古川市立氷丘小学校

1 教育目標 人間性豊かな氷丘っ子の育成 — 自ら学び辛抱強く努力する心豊かな子 —

2 基本方針

【目指す子ども像】 * よく考える子 * 素直でやさしい子 * 強くたくましい子

3 指導目標

【実践目標】

- 「確かな学力」を育成する学習指導の充実
 - 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と書く力の育成 ○知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成 ○主体的に学習に取り組む態度の育成
 - 言語活動を通して各教科等の目標を実現 ○協同的探究学習を核とした授業改善 ○学習意欲の向上を図るため、児童の興味・関心を捉えた単元構想の工夫
 - ☆GIGAスクール構想の実現に向け、ICTを有効活用した授業を積極的に取り入れる
- 「豊かな心」を育む道徳・人権教育の充実
 - 心に響く道徳授業と内容の充実 ○多様な考えにふれ、自己の考えを深める「考える道徳」の授業実践 ○「いじめ防止対策改善プログラム」に基づいた命を大切に人権教育の推進
 - 児童の実態や発達段階に応じた情報モラル教育の実施
- 「健やかな体」を育む安全・健康教育の充実
 - 運動特性を踏まえた年間計画にそったバランスの良い体育の実践 ○学校管理下における事故の減少及び登下校の安全確保と安全指導の徹底 ○感染症予防対策の徹底
 - 食物アレルギー対応等、安全安心な学校給食の実施
- 望ましい人間関係を育む特別活動の充実
 - 集団の一員として、よりよい学級・学校生活づくりに参画する態度を育成する学級活動・児童会活動 ○児童会を中心とした心の絆を深める活動の充実
 - 学級以外の仲間と交流を深めるとともに、個性の伸長を図るクラブ活動 ○学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する学校行事
- 障がいの状態に応じた特別支援教育の充実
 - 自立をめざした教育活動の一層の充実 ○要支援児童の個に応じた適切な支援と教育相談の充実 ○同じ場で学ぶことを追求したインクルーシブ教育の充実 ○適正な就学指導の推進
- 人間的なふれあいに基づいて、児童の自己指導能力を育む生徒指導の推進
 - 多面的な児童理解と信頼関係に基づく生徒指導 ○全教職員の共通理解の下、組織的・計画的に行う生徒指導 ○教育のあらゆる場面で人権教育の視点を持った生徒指導
 - いじめの未然防止・早期発見・早期対応への徹底した取り組み
- 氷丘中学校区学校運営協議会の充実
 - 「氷丘地区の子どもたちのために」を合言葉とした、氷丘中学校の学校園や地域との連携

評価基準 A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ (関係者評価)	達成状況
「確かな学力」を育成する学習指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の学力の定着 ・思考力・判断力・表現力を養う学習指導 ・協同的探究学習の推進 ・言語活動の充実 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一授業の授業研究に取り組み、教員の指導力向上に成果が見られた。引き続き、国語科を中心とする校内研究を推進し、協同的探究学習を核とした主体的・対話的で深い学びの実現をめざす。 ・今年度は、朝学の時間の充実を図った。読書週間を設けたり、図書委員会の児童や教師が読み聞かせをするなど、学校全体で読書活動を推進することができた。 ・基礎・基本の学力定着を目指し、学習部や研究推進委員会が連携して授業改善に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の基本は国語科であり、それを研究の中心として取り組んでいることは評価できる。朝学等での読書活動も、継続して取り組んでほしい。デジタル化が進んでいるが、紙の本を読むことの楽しさや素晴らしさも子どもたちに教えてほしい。 ・学力の定着が課題として挙げられていたが、授業研究(国語科)の実施により指導方法や技術を学び、教師の指導力向上に努めている。 ・「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けて、自分なりの考えをもってしっかり取り組めるよう、協同的探究学習を核として授業改善にさらに取り組んでほしい。 	A
「豊かな心」を育む道徳・人権教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつなどの基本的な生活習慣の定着 ・集団や社会のきまりを守る態度の育成 ・いじめを許さない心の醸成 ・命を大切に心身の育成 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も道徳を中心にローテーション授業を行い、複数の目で子どもを見守る体制づくりへとつながった。次年度も継続したい。 ・人権参観の実施により、人権教育の取組を保護者にも周知することができた。 ・児童が主体となって「ひおっ子のきまり」の見直しを行うことができた。今後も継続したい。 ・いじめ、自殺等の未然防止、早期対応に教職員の意思統一や連携をさらに深めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ローテーション授業等により、いつでも誰でも教室に入ることができる体制作りは大切である。今後も継続してほしい。 ・決まりを守ることや基本的な生活習慣については、日々の指導の積み重ねと継続した指導により定着してきている。また、子どもたちが主体となって学校のきまりを考えることは大切である。一方で、児童や保護者の多様な価値観への対応は難しいと思うが、地域も一緒に考えていきたい。 	B
「健やかな体」を育む安全・健康教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な体育授業の実践 ・感染症対策 ・学校管理下の事故対策 ・登下校時の安全対策 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツテストの結果を踏まえ体育の学年年間計画を見直す。 ・「食と健康」についての児童アンケートにより、児童の実態把握に努め、養護教諭、栄養教諭の連携により、健康教育の充実を図ることができた。 ・学校管理下の事故対策、登下校時、放課後等の安全対策として、「氷丘っ子安全安心大作戦」を作成、指導し、徹底を図った。今後も継続したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の安全確保については、教師の指導、保護者や地域の方々の協力により効果を上げていく。今後も健康や安全に対する危機意識をもって生活できる子の育成に取り組んでほしい。 ・「安全安心大作戦」は、町内会や安全安心協議会と連携して、地域への周知も図っていききたい。 ・小学校近辺でも交通事故が多発している。重大事故が起きないよう、今後も地域と連携を図りながら安全対策を徹底してほしい。 	B